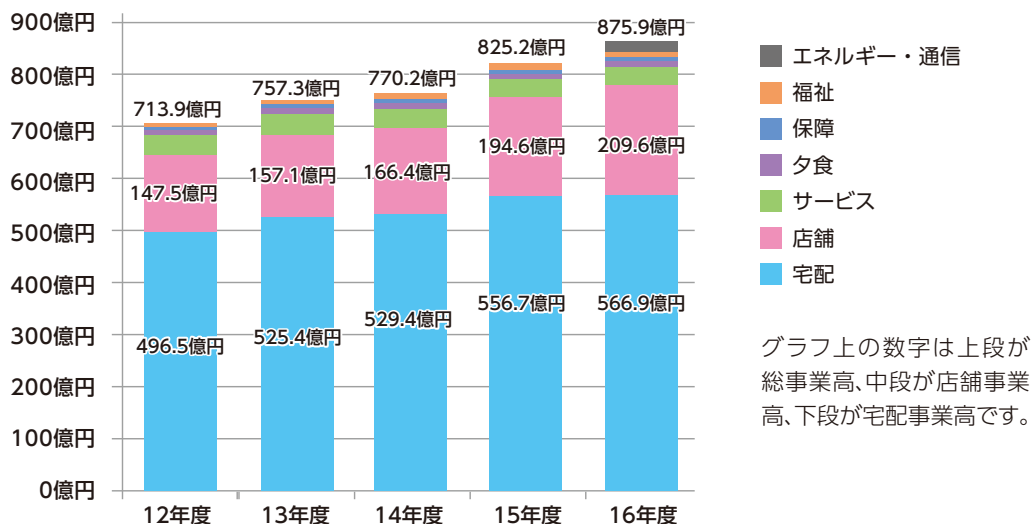


事業経営評価

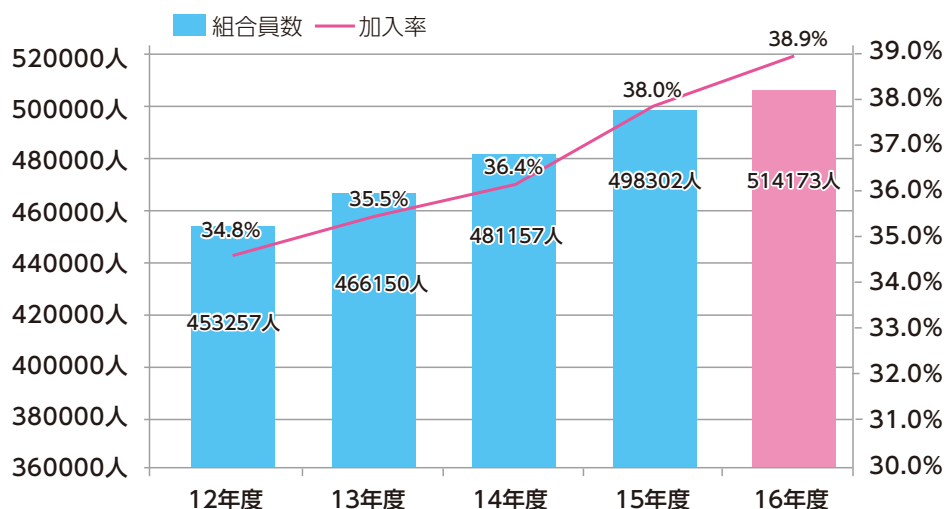
1. 事業・組織到達の概要

① 総事業高 **875.9億円** 前年比:106.1%



- ・ 事業高は、前年から50億円増加し、106.1%の伸長でした。宅配事業で10億円、店舗事業で15億円増加し、新たに立ち上げたエネルギー・通信事業で20億円増えたことが主な要因です。
- ・ この間、ほぼ全ての事業分野で前年の実績を上回り、総事業高が毎年着実に増加しています。
- ・ 3月にコープ大野芝がオープンしました。

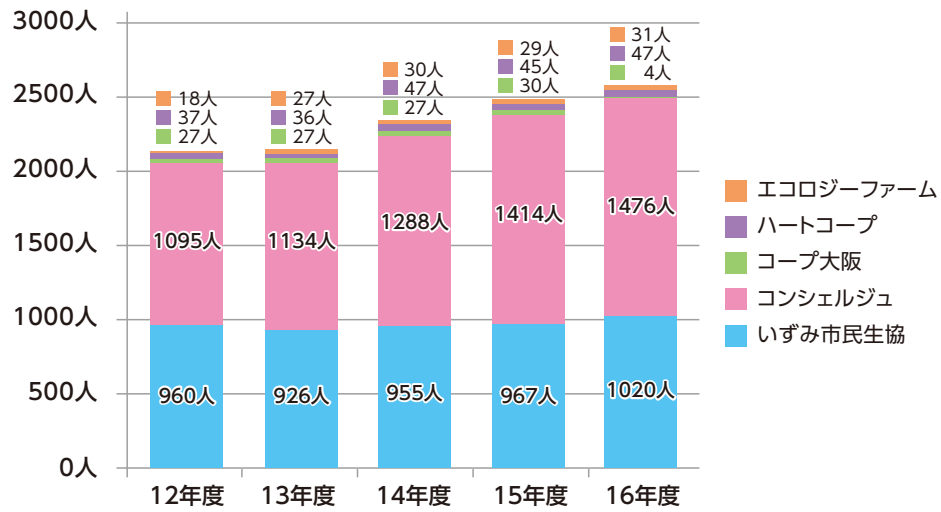
② 組合員数 **514173人** 前年比:103.2%



- ・ エリア世帯に対する加入率は、38.9%となっており、約4割がいずみ市民生協の組合員です。
- ・ 宅配での営業活動と、新店の出店などにより、組合員数は毎年着実に伸長しています。
- ・ 宅配の注文書発行組合員数は256,494人で、内訳は概ね班配34%、個配66%です。

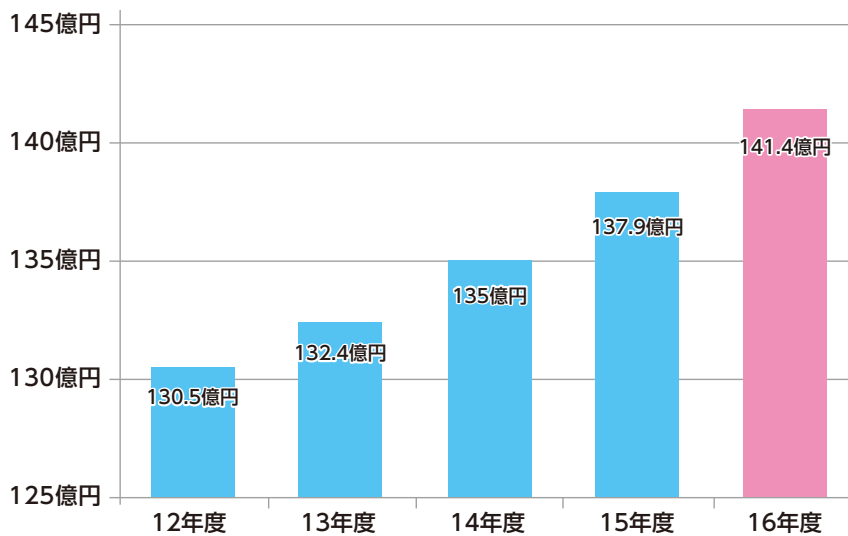
③常勤役職員数 **2578人** (いずみ市民生協グループの常勤役員・従業員数: 定時職員は正規換算)

前年比: 103.8%



- ・事業の拡大に伴い、店舗や配送現場を担うコンシェルジュの社員数が増えています。2016年度も、コープ大野芝の開店があり、店舗部門だけで約200名増加しました。いずみグループで働く総人数は、3912人です。(2578人および上記グラフは、定時職員を正規換算した人数。)
- ・2010年度以降、いずみ市民生協よりコンシェルジュの従業員数の方が多くなっています。

④出資金額 **141.4億円** 前年比: 102.5%



- ・組合員の増加とともに、出資金が毎年増加しています。
- ・一人あたりの出資金額は、27,506円で、前年とほぼ同額です。
- ・組合員の出資金が10万円に達すると、割戻しは出資金に振り替えず、振り込みにてお返ししています。

2. 経営状況評価

■概要

2016年度の経営評価について、収益性・安全性・成長性の3点から評価しました。評価基準は以下の通りです。

項目	評価
収益性	A
安全性	A
成長性	A

評価	評価基準
A	他生協や一般的なレベルと比較して優れている
B	他生協や一般的なレベルである
C	他生協や一般的なレベルと比較して劣る

「収益性」については、2016年度は、経常剰余率が4.4%、経常剰余金38.7億円で、ともに前年を下回りました。この間、宅配事業を中心に安定的に収益をあげており、毎年積極的な投資を行っています。

「安全性」についても、資金繰りなどが健全で、安全な状態です。

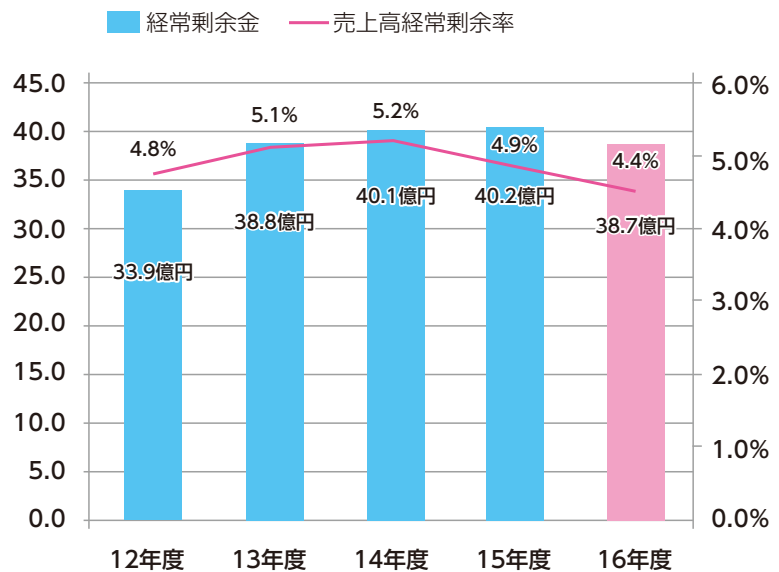
「成長性」については、エネルギー・通信事業や保障事業など、数多くの新規事業を開始し、着実に前進しています。とりわけ、電気小売り事業については、初年度、20億円の売り上げがありました。

以上3つの観点から、現在の経営状態は健全であると考えます。

収益性 A

① 経常剰余 **38.7億円**

② 経常剰余率 **4.4%**



事業活動以外での収益も加えた経常剰余金や、それが総事業高に占める割合を表した経常剰余率ともに、全国生協の中でトップクラスの到達となっています(地域生協平均は1.8%)。

経常剰余金が前年より減少しているのは、新施設への投資や新規事業の立ち上げなどによるものです。

安全性

A

- ① 自己資本比率 **71.4%** ② 流動比率 **169.8%**
③ 固定比率 **81.1%**

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
自己資本比率	66.6%	68.9%	68.7%	70.2%	71.4%
流動比率	177.9%	179.0%	183.1%	175.3%	169.8%
固定比率	82.3%	78.4%	82.7%	82.2%	81.1%

自己資本比率は、いずみ市民生協の全ての資本のうち、借金などの負債を差し引いて、どれくらい自前で賄っているかを見ています。71.4% (基準50%以上、地域生協平均59.2%) は優秀なレベルです。経営の安全性では、短期的な支払い能力を見る流動比率が169.8% (基準100%以上、地域生協平均155.1%)、長期的な支払い能力を見る固定比率が81.1% (基準100%以下、地域生協平均93.0%) と、いずれも優秀なレベルです。

こうした観点から、いずみ市民生協の経営における安全性は、他生協や一般的なレベルに比べて優れていると判断することができます。

成長性

A

- ① 加入率 **38.9%** ② 事業伸長率 **106.1%**
③ 宅配利用人数伸長率 **99.2%** ④ 店舗利用人数伸長率 **107.3%**

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
加入率	34.8%	35.5%	36.4%	38.0%	38.9%
事業伸長率	102.1%	106.1%	101.6%	107.1%	106.1%
宅配利用人数伸長率	103.1%	103.1%	102.2%	106.7%	99.2%
店舗利用人数伸長率	103.6%	106.2%	104.4%	114.6%	107.3%

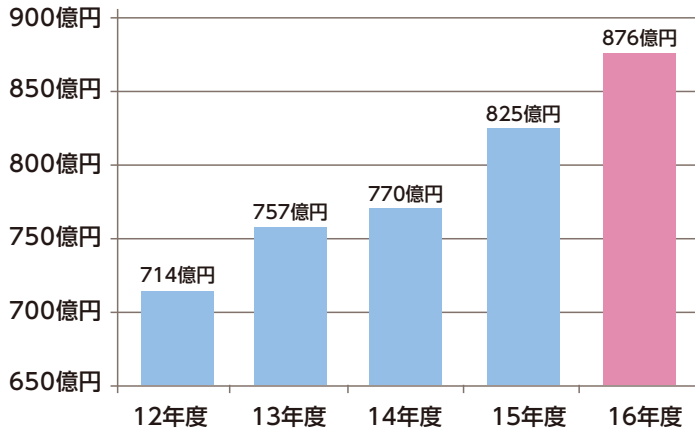
エリア内での生協加入世帯の割合をみる加入率も、年々向上しています。宅配では一年を通じて地域でのお誘い活動を展開しており、店舗の新規の出店時の加入受け付けと合わせて、いずみ市民生協の組合員数は引き続き増加しています。

新店など、新たな事業所の開設と、電気小売りをはじめ通信や保険など、数多くの新規事業に着手して、着実に事業を伸長させています。ほぼすべての供給事業、福祉事業が前年から伸長しており、総事業高は、過去5年で122%伸長しました。

事業で生まれた利益で積極的に投資をすすめ、安定した成長のための基盤づくりをすすめることができます。

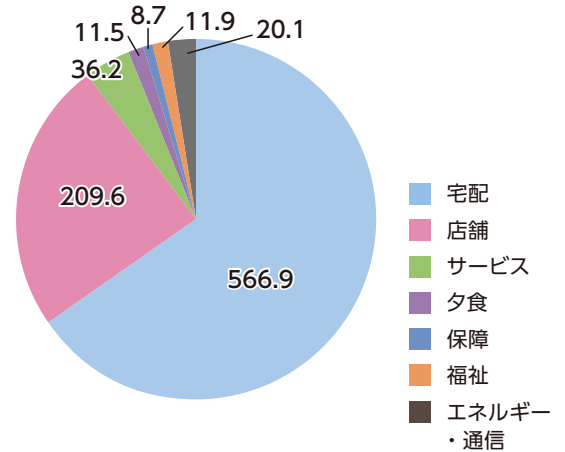
3. 各事業分野別評価

■ 総事業高の推移



総事業高は毎年順調に伸長しています。2016年度は、前年より50億円、106.1%の伸長となっており、宅配事業で10億円、店舗事業で15億円増加し、新たに立ち上げたエネルギー・通信事業で20億円増えたことが主な要因です。

■ 分野別事業高



総事業高に占める各事業分野の割合は、宅配で65%、店舗で24%、合わせて全体の約9割を占めています。今後、店舗の出店をすすめていく予定で、店舗事業の占める割合が徐々に増えていく見込みです。

■ 各事業分野の主な指標の5段階評価 (次頁以降参照)

宅配事業	2016年度	評価	前年
供給高伸長率	101.8%	3	5
利用人数伸長率	99.2%	1	5
世帯利用伸長率	101.3%	4	3
経常剰余率	6.0%	5	5
宅配事業評価平均		3.3	4.5

店舗事業	2016年度	評価	前年
供給高伸長率	107.7%	3	4
来店人数伸長率	107.3%	3	3
客単価伸長率	100.4%	3	4
経常剰余率	-1.40%	2	3
店舗事業評価平均		2.8	3.5

サービス事業	2016年度	評価	前年
供給高伸長率	101.8%	2	1
経常剰余率	10.5%	5	4
サービス事業評価平均		3.5	2.5

エネルギー・通信事業	2016年度
経常剰余率	-3.2%
エネルギー・通信事業評価	

福祉事業	2016年度	評価	前年
収入高伸長率	105.2%	3	4
経常剰余率	-6.4%	1	1
福祉事業評価平均		2.0	2.5

夕食宅配事業	2016年度	評価	前年
供給高伸長率	106.9%	4	2
経常剰余率	7.9%	5	5
夕食宅配事業評価平均		4.5	3.5

保障事業	2016年度	評価	前年
供給高伸長率	114.7%	5	2
経常剰余率	44.0%	2	3
保障事業評価平均		3.5	2.5

*エネルギー・通信事業は、2016年度から開始しました。次年度より評価します。

① 宅配事業評価

宅配事業	2016年度	評価	《 評価基準 》				
			105%以上	103%以上	100%以上	99%以上	99%未満
供給高伸長率	101.8%	3	105%以上	103%以上	100%以上	99%以上	99%未満
利用人数伸長率	99.2%	1	105%以上	103%以上	102%以上	100%以上	100%未満
世帯利用伸長率	101.3%	4	102%以上	101%以上	100%以上	97%以上	97%未満
経常剰余率	6.0%	5	6%以上	4%以上	3%以上	1%以上	1%未満
宅配事業評価平均		3.3	5	4	3	2	1

供給高では前年より10億円伸長し、経常剰余金も34億円と、引き続き基幹事業としていずみ市民生協を支えています。2016年度の特徴としては、春から始まった電気小売事業に注力したために、宅配事業自体の営業活動にいつもの時間を割くことができませんでした。そのため、組合員拡大計画が未達成となり、利用人数の計画および前年の実績を下回る結果となりました。

宅配を使っていただきやすくするために、個配手数料の無料枠の拡大などをすすめました。

② 店舗事業評価

店舗事業	2016年度	評価	《 評価基準 》				
			120%以上	110%以上	103%以上	100%以上	100%未満
供給高伸長率	107.7%	3	120%以上	110%以上	103%以上	100%以上	100%未満
来店人数伸長率	107.3%	3	120%以上	110%以上	103%以上	100%以上	100%未満
客単価伸長率	100.4%	3	103%以上	102%以上	100%以上	97%以上	97%未満
経常剰余率	-1.40%	2	4%以上	2%以上	0%以上	-3.0%以上	-3.0%未満
店舗事業評価平均		2.8	5	4	3	2	1

供給高は194.6億円と、前年から15億円、107.7%伸長しました。

3月に、コープ大野芝(売り場面積654坪)をオープンしたことや、各店ですすめる、「おいしさ」「楽しさ」「発見・感動」のある売り場作りにより、事業高や来店人数は着実に増加傾向にあります。

③ サービス事業評価

サービス事業	2016年度	評価	《 評価基準 》				
			120%以上	110%以上	105%以上	100%以上	100%未満
供給高伸長率	101.8%	2	120%以上	110%以上	105%以上	100%以上	100%未満
経常剰余率	10.5%	5	10%以上	9%以上	8%以上	7%以上	7%未満
サービス事業評価平均		3.5	5	4	3	2	1

カタログ・通販部門は、子会社である(株)コープ大阪サービスセンターより移管したサービス・斡旋事業(葬祭事業、チケット事業を含む)とカタログ通販事業を統合し、新たにサービス事業として立ち上げました。

経常剰余金は、37億円、経常剰余率は、10.5%と高いレベルで推移しています。

④ エネルギー・通信事業評価

エネルギー・通信事業	2016年度
経常剰余率	-3.2%
エネルギー・通信事業評価	

エネルギー・通信事業は2016年度に立ち上げたので、次年度から評価をすすめます。

供給高は、20.1億円で、予算比133.6%の達成率でした。経常剰余金は、▲1億7799万円のところ、▲6476万円でした。電気の利用者は、最初の1年間で24,784世帯となりました。

⑤ 福祉事業評価

福祉事業	2016年度	評価	《 評価基準 》				
収入高伸長率	105.2%	3	110%以上	107%以上	105%以上	103%以上	103%未満
経常剰余率	-6.4%	1	4%以上	2%以上	0%以上	-3.0%以上	-3.0%未満
福祉事業評価平均		2.0	5	4	3	2	1

現在、6つのヘルパーステーション、デイサービスが2施設、小規模多機能型居宅介護事業所が2施設、グループホームが1施設、介護付有料老人ホームが3施設、福祉用具のレンタル・販売・住宅改修などを受け付ける事業所が1つ、サービス付高齢者住宅が1つですすすめています。サービス付高齢者住宅開設の投資と、介護職員の人手不足による派遣費用の増加の影響を受けて、当期剰余金は6340万円の赤字となりました。

⑥ 夕食宅配事業評価

夕食宅配事業	2016年度	評価	《 評価基準 》				
供給高伸長率	106.9%	4	108%以上	105%以上	102%以上	97%以上	97%未満
経常剰余率	7.9%	5	7%以上	4%以上	2%以上	0%以上	0%未満
夕食宅配事業評価平均		4.5	5	4	3	2	1

供給高は、111.5億円(前年比106.9%)でした。1日当たりの配食数は、約7,514食(前年比約101.1%)となりました。

2016年度は、新たな商品として、「おかず小コース」「いろいろ8品コース」の提供や、迎春商品の充実を図りました。

⑦保障事業評価

共済事業	2016年度	評価	《 評価基準 》				
供給高伸長率	114.7%	5	105%以上	104%以上	102%以上	100%以上	100%未満
経常剰余率	44.0%	2	70%以上	60%以上	50%以上	40%以上	40%未満
保障事業評価平均		3.5	5	4	3	2	1

2016年度より、子会社である(株)コープ大阪サービスセンター取り扱いの保険を、いずみ市民生協に移管しました。手数料収入は8.7億円(予算比96.6%、前年比114.7%)、経常剰余金は3.8億円となりました。

共済のみの普及から、損害保険、生命保険を扱うことで選択の幅が広がり、よりニーズに応じた保障商品の提供が行えるようになりました。